



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。

ここでは多摩美術大学の紹介と地域と協力した取組みをご紹介します！



## 多摩美術大学×二子玉川ライズ 地域連携アートプロジェクト タマリバーズvol.10

会場：二子玉川ライズ ガレリア  
日時：2021年10月 9日(土) 11:00, 12:30, 14:00, 15:30  
2021年10月10日(日) 11:00, 12:30, 14:00, 15:30

多摩美術大学×二子玉川ライズ 地域連携アートプロジェクト タマリバーズVol.10を、二子玉川ライズ・ガレリアを拠点とし10月9日、10日の二日間開催します。2011年より歴史を刻んできたタマリバーズ。2016年からはPBL※科目として展開してきました。2020年度はコロナ禍により、残念ながら開催できませんでした。それにより、2021年度は、二子玉川ライズ開業10周年とタマリバーズ10回目が重なることになりました。タマリバーズのメインイベントは、二子玉川ライズ・ガレリアを会場とした、<広場演劇>です。半屋外であり、風の通り道であるガレリアを“広場”“劇場”と見立てて展開します。

※PBL: Project Based Learning(課題解決型学習) 学生自ら問題を見つけ、さらにその問題を自ら解決する能力を身に付ける学習法。

## 多摩美術大学・芸術祭(オンライン)

今年度の芸術祭は下記日程にてオンラインで開催予定です。どなたでもご参加いただけます。

開催日程：2021年10月29日(金)～31日(日)

詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.tamabi.ac.jp/campus/extracurricular/festival.htm>

今年のテーマは



多摩美術大学 上野毛キャンパス



## 多摩美術大学

絵画学科(日本画専攻/油画専攻/版画専攻)、彫刻学科、工芸学科、グラフィックデザイン学科、生産デザイン学科(プロダクトデザイン専攻/テキスタイルデザイン専攻)、環境デザイン学科、情報デザイン学科(メディア芸術コース/情報デザインコース)、芸術学科、統合デザイン学科、演劇舞踊デザイン学科(演劇舞踊コース/劇場美術デザインコース)

# 地域で学べる講座紹介

# TCL

Tama Art University  
Creative Leadership  
Program

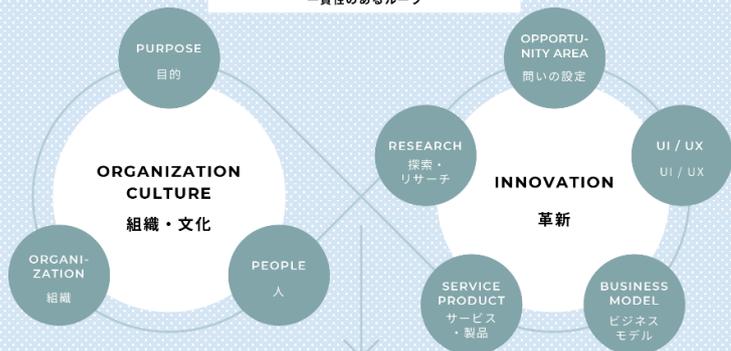
## 多摩美術大学 クリエイティブリーダーシップ プログラム

### デザイン経営をビジネスに実装する講座

#### TCLの提供するプログラム

本質的なブランディング

組織・カルチャー & イノベーション  
一貫性のあるループ



社会にどう実装し、  
サステナブルにエンゲージメントしていくか。

詳しくはホームページで ● <https://tcl.tamabi.ac.jp/>

TCLは多摩美術大学が「デザイン経営」を社会実装することを目的に、2020年9月に開講したビジネスパーソンのための講座です。本学の施設・設備を活用し、毎週土曜日(初回は土日の2日間)の午前10時から午後5時まで、全11回にわたり開催する履修証明プログラムで、大手企業やベンチャー、スタートアップ、官公庁や地方自治体など、さまざまなバックグラウンドをもつ方々が受講しています。

TCLの授業は本学上野毛キャンパスおよび東京・六本木にある東京ミッドタウン・デザインハブ内国際・デザイン・リエゾンセンターで行います。コミュニケーションツールの「Slack」やホワイトボードアプリの「Miro」などのオンラインサービスも積極的に活用し、プログラム実施日以外でも受講生と教授・講師陣同士の活発なディスカッションや交流が行われます。受講生が3か月後に再度集まってそれぞれの取り組みを発表し検証する「フォローアッププログラム」も実施します。また、アルムナイ(校友)組織を設立し、履修後後も同期の枠を超えた交流を促進します。

第5期 (2021第3期)  
2022年1月~3月  
受講生募集中!  
10月1日(金)AM10時締め切り

厚生労働大臣指定  
一般教育訓練講座

## 世田谷区教育委員会共催

## 連続講座「〇〇世紀の芸術家列伝II—18世紀」

### 【オンデマンド受講】

\* 本講座は【会場受講】と【オンデマンド受講】の2種類から選べます  
\* 今回の募集は終了しています。

詳しくはホームページで <https://k.tamabi.ac.jp/life/lecture/2021sp/000536.htm>

- 第1回 「18世紀の美術・芸術への興味」
- 第2回 「伊藤若冲—京都市民の不安と欲望」
- 第3回 「沈南蘋」
- 第4回 「池大雅—万卷の書を読み、万里の路を行く」
- 第5回 「ジャン・シメオン・シャルダン—異端の画家シャルダンの芸術の近代性」
- 第6回 「白隠慧鶴—発話する書画」
- 第7回 「小田野直武—“ヨーロッパ”と出会った男」
- 第8回 「フランシスコ・デ・ゴヤ」
- 第9回 「尾形光琳—装飾芸術の輝き 闇の中の『光』」
- 第10回 「ウィリアム・キャズロン—イギリス伝統ローマン体活字の完成」
- 第11回 「ジャン・フィリップ・ラモ—フランス・バロック最後の巨匠」
- 第12回 「亜欧堂田善—アジアとヨーロッパにちなむ堂号をつけた男の作品」
- 第13回 「東洲斎写楽—日本人が好まなかった写楽の大首絵」
- 第14回 「ヨハン・ゼバスティアン・バッハ—構造と生成」
- 第15回 「ジャック・ルイ・ダヴィッド—新古典主義の美学」
- 第16回 「蔦屋重三郎—写楽・歌麿を生み出した名プロデューサー」
- 第17回 「与謝蕪村」
- 第18回 「マルキ・ド・サド—一個の探求と普遍性」



あそびじゅつ

2022年3月5日(土) 10時~15時  
上野毛キャンパス  
「自分を描こう、どう描こう」  
対象: 1年~6年 定員: 25名

● その他の講座情報はこちら <https://www.tamabi.ac.jp/life/>